

千葉大学大学院園芸学研究科 学位授与の方針（博士後期課程）

博士後期課程では、博士前期課程までで築いた知的基盤の上に、以下の知識・能力を修得する。

「自由・自立の精神」

- 「園芸とランドスケープ」に関わる研究者や大学教員あるいは研究・行政等の組織統括者として、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行える。加えて社会に対する科学者としての責任の自覚と研究倫理を身につけて、主体的に行動できる。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

- 自ら課題を設定し、自立的な研究開発を行うことができ、その成果を国際的・学際的に発信できる。また、高等教育研究者あるいは国内外の機関の指導的人材として活動するための基礎として、多様な文化・歴史に対する理解を有して、地球社会と地域社会の双方の持続的な発展のために役立てることができる。

「専門的な知識・技術・技能」

- 「園芸とランドスケープ」に関わる創造性に富む高度な研究・開発能力と豊かな学識を持ち、新たな知見や価値の創出に貢献できる。また、幅広い専門的知識や研究遂行能力を活かして、高度な研究開発プロジェクトの企画・管理等を行うことができる。

「高い問題解決能力」

- 「園芸とランドスケープ」に関わる課題を見出し、専門分野・関連分野の情報・知識を活用しながら、他者と協調・協働し、知識基盤社会を支える新たな知見や価値を創出することができる。